岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 24 年度 理事総会(第 1 回理事会)

平成 24 年 4 月 25 日(水)　15:00～17:00
盛岡北高等学校 南講義室

次第

開会
専門部長挨拶
自己紹介
議長選出
協議　1　平成 23 年度事業報告ならびに決算報告
(1)　平成 23 年度役員　2
(2)　事業報告　3
(3)　決算報告
ア　一般会計　6
イ　事業費会計①　NHK 杯県大会　7
ウ　事業費会計②　新人大会　8
エ　事業費会計③　講習会　9
2　平成 24 年度役員(改選期)　10
3　平成 24 年度事業計画ならびに予算
(1)　事業計画　11
(2)　予算
ア　一般会計　14
イ　事業費会計①　NHK 杯県大会　15
ウ　事業費会計②　新人大会　16
エ　事業費会計③　講習会　17
4　NHK 杯県大会要項(6 月 4 日・5 日開催)　18
5　放送講習会要項(9 月 16 日開催)　18
6　第 16 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会について　18
7　その他　19
連絡　1　平成 25 年度以降の予定　19
2　放送専門部の連絡方法　20
3　その他　20
閉会

資料　岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約　21
平成 23 年度大会結果　26
平成 23 年度高文連紀要　26

http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/bod20120425.pdf

協議１　平成23年度事業報告ならびに決算報告　(平成24年2月21日の第3回理事会で報告済)

(1)　平成23年度役員　(理事校　24)

専門部長	盛岡市立高等学校長	髙橋隆	事務局校
副専門部長	岩手県立盛岡北高等学校長	佐野武徳	次期事務局校
専門部代表理事	盛岡市立高等学校	鈴木勇二	事務局長
専門部理事	盛岡市立高等学校	中嶋文恵	事務局
専門部理事	盛岡市立高等学校	菊池博之	事務局
専門部理事	盛岡市立高等学校	川村直子	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広	監事・平成44～45年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	谷藤さなえ	平成44～45年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭	平成32～33年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	平成34～35年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	真田節子	平成26～27年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ	監事・次期事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	中井絵美	次期事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	川村有子	平成36～37年度事務局校
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	才藤史紀	平成38～39年度事務局校
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	平井恵美子	平成38～39年度事務局校
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	小林由美子	
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	畠山惠利佳	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	畑中元毅	平成40～41年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	平成40～41年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	鈴木一彦	平成42～43年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	佐々木香住	平成42～43年度事務局校
専門部理事	岩手高等学校	松田満	盛岡支部理事・平成28～29年度事務局校
専門部理事	岩手高等学校	竹本英三	平成28～29年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂	平成30～31年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	菅原浩	平成30～31年度事務局校
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	岡田伸一郎	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	曽我範晃	北上支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	舘昌章	
専門部理事	専修大学北上高等学校	昆洋子	
専門部理事	専修大学北上高等学校	千田省一	
専門部理事	専修大学北上高等学校	野村学	
専門部理事	岩手県立前沢高等学校	小野寺幸利	
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	菊地達哉	NHK杯運営委員・全国高文連理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	久慈千鶴子	奥州支部理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	武藤秀郷	
専門部理事	岩手県立釜石高等学校	髙橋篤志	釜石支部理事
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	高橋啓	
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	小笠原潤	
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	佐々木佳奈子	宮古支部理事
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	上野葉登子	
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	近藤史隆	
専門部理事	岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬	久慈支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	松尾美幸	二戸支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	馬淵祥介	
		(空席)	一関支部理事・気仙支部理事

(2)　事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	19	火	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	27	水	理事総会･第1回理事会	盛岡市立高校	**放送専門部**
5	20	金	第63回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第一･盛岡第三)	運動公園	協力事業 県高体連
5	23	月	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
6	7	火	第34回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第58回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (23校･277名･175エントリー)	県民会館	**放送専門部･NHK**
6	27 28	月 火	第11回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (7校･22名･12エントリー)	細野地区活性化センター	**東北高文連 主管事業**
7	9 10	土 日	第58回NHK杯全国高校放送コンテスト準々決勝 (11校･26エントリー)	NHK放送センター (非公開審査)	全放連･NHK
7	16	土	セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会 (6校･21名･15エントリー)	NHK盛岡放送局	**放送専門部**
7	26	火	全国高文連放送専門部都道府県代表者会議	オリンピック記念青少年総合センター	全国高文連
7	26 28	火 木	第58回NHK杯全国高校放送コンテスト (6校･44名･6エントリー)	NHKホール他 (東京)	全放連･NHK
7	27 29	水 金	全国高総文祭郷土芸能部門 (岩手)	マリオス	協力事業 全国高文連
7	28	木	Nコン番組制作セミナー (3校･30名)	NHK放送センター内会議室(東京)	全放連･NHK
7 8	28 20	木 土	北東北総体総合開会式･種目別競技 (各校)	青い森アリーナ(青森) 県内各地	協力事業 全国高体連
8	6	土	番組講習会 (10校･94名)	アイーナ	放送専門部 盛岡支部
8	10	水	短歌甲子園アナウンス講習会 (5校･20名)	盛岡劇場	協力事業 盛岡市
8	19 21	金 日	第6回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一･盛岡市立･岩手･白百合･花巻北)	姫神ホール 盛岡劇場	協力事業 盛岡市
9	3 4	土 日	第35回全国高等学校総合文化祭(福島大会)放送部門 (7校･9エントリー)	福島テルサ(非公開審査)	全国高文連
9	7	水	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	青森市民ホール	東北高文連
9	8	木	第2回理事会	盛岡市立高校	**放送専門部**
9	18	日	セミナーサポート事業②放送講習会 (16校･165名、うち県外2校･8名)	おでって	**放送専門部**
10	7	金	第34回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (盛岡第一･盛岡第二･盛岡市立･岩手･白百合ほか)	県民会館	県高文連 (盛岡支部主管)
10	12	水	セミナーサポート事業③ メディアコミュニケーションセミナー (18校･197名)	県民会館･テレビ岩手	**放送専門部**
11	8	火	第34回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第29回岩手県高等学校放送新人大会 (21校･224名･169エントリー)	県民会館	**放送専門部**
11	26	土	セミナーサポート事業④番組講習会 (9校･65名)	テレビ岩手	**放送専門部**
12	24	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (10校･40名)	県民会館	**放送専門部**
12	26 27	月 火	校内放送指導者講座 (1名派遣･計6名参加)	NHK放送研修センター(東京)	全放連･NHK
2	11 12	土 日	第15回東北高等学校放送コンテスト (12校･83名･36エントリー)	青森市民ホール	東北高文連
2	21	火	第3回理事会･会計監査	盛岡市立高校	**放送専門部**
3	上旬		盛岡北高へ引継ぎ	盛岡北高	**放送専門部**
3	24	土	第59回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連･NHK
3	28	水	番組講習会 (10校･99名)	アイーナ	放送専門部 盛岡支部

ア　大会事業

県大会はいずれも第34回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として実施しました。全結果は放送専門部のウエブサイトをご覧ください。

①　第58回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会　6月7日(火)　県民会館

・NHK杯全国大会(平成24年7月)の予選として実施

②　第29回岩手県高等学校放送新人大会　11月8日(火)　県民会館

・東北高等学校放送コンテスト(岩手大会，平成24年2月)ならびに第36回全国高等学校総合文化祭放送部門(富山大会，平成24年8月)の予選として実施

・第36回全国高総文祭参加推薦は12ページのとおり

③　上位大会等

・第11回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(6/27-28　安比高原　担当：岩谷堂・菊地)
岩手県高文連放送専門部の主管で実施

・第58回NHK杯全国高校放送コンテスト(7/9-10･26-28　東京　担当：岩谷堂・菊地)
2年ぶりの決勝進出，創作ラジオドラマ部門初の準優勝，入賞4+研究奨励2

・第35回全国高等学校総合文化祭放送部門(9/3-4　福島　担当：岩谷堂・菊地)
3年ぶりの入賞，AP部門では7年ぶりの入賞，入賞1

・第15回東北高等学校放送コンテスト　(2/11-12　青森　担当：盛岡市立・鈴木)
入賞6

イ　講習会事業

セミナーサポート事業，盛岡支部事業，上位大会関連事業，協力事業関連として実施しました。

①　放送専門部・盛岡支部主催

・アナウンス朗読講習会　7月16日(土)　NHK盛岡放送局
加藤健治氏(元NHK)による全国大会出場者への指導

・番組講習会　8月6日(土)　アイーナ，盛岡支部主催
中野圭氏(テレビ岩手)による番組制作についての指導

・放送講習会　9月18日(日)　おでって
佐賀清和高等学校放送部田川孝二先生と山﨑瑞希さん(2 年)・松尾佑海さん(2 年)を招聘。県外校も参加

・メディアコミュニケーションセミナー　10月12日(水)　県民会館・テレビ岩手
高橋美佳・中野圭(テレビ岩手)，加藤久智・甲斐谷望(IBC岩手放送)各氏による部門別の講習

・番組講習会　11月26日(土)　テレビ岩手
中野圭氏(テレビ岩手)による東北大会出場校への指導

・アナウンス朗読講習会　12月24日(土)　県民会館
安田知博氏による東北大会出場者等への指導

・番組講習会　3月28日(水)　アイーナ，盛岡支部主催
廣嶼文樹氏(テレビ岩手)によるドラマ制作についての指導

② 上位大会関連・協力事業関連

・N コン番組制作セミナー　(7/28　東京　NHK 放送センター内会議室)
NHK 杯全国大会後に東京で実施。宇治橋祐之氏(NHK 制作局デスク)他による指導。盛岡第一・花巻北・黒沢尻北の 3 校参加

・短歌甲子園司会講習会・第 6 回全国高校生短歌大会司会　(8/10・19-21　盛岡劇場)
畑中美耶子氏による指導。5 校が担当

・その他
高総体開会式司会(盛岡第一･盛岡第三，5/20)
IAT 純情応援歌(6-7 月)
県高総文祭総合開会式(盛岡支部，10/7)
北東北総体総合開会式･種目別競技(7/28-8/20)
TVI らどんぱ，NHK-FM U-18 ユーガタ M 塾東北スペシャル(盛岡第一･盛岡市立，1/6)，IAT シリーズ卒業(3 月)など

ウ　顧問研修事業

校内放送指導者講座(12/26-27，千代田放送会館)に 1 名(盛岡第一・濱谷)を派遣，5 名の参加補助をおこないました。この講座への岩手からの参加者は累計 20 名(複数回参加を除く)となり，指導力・審査力の向上につながっています。

エ　その他

① 部員数調査…第 2 回理事会で報告

② 県高文連表彰…第 2 回理事会で報告

次のとおり県高文連に推薦し，県高総文祭総合開会式(10/7(金)，県民会館)で表彰

連盟賞(生徒表彰)…平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日に全国大会(総文祭･NHK 杯など)で優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

・黒沢尻北高校放送部…第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト創作ラジオドラマ部門準優勝
・黒沢尻北高校放送部…第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門優良賞
・黒沢尻北高校放送部…第 35 回全国高等学校総合文化祭放送部門オーディオピクチャー部門優秀賞

功労賞(教職員表彰)…平成 22 年度末に退職した教職員で，専門部長・常任理事経験者，指導者として全国大会優良賞(3 位)以内に入賞したもの，指導者として全国大会に 10 回以上出品・出演させたもの。

・上原耕太郎先生(黒沢尻北校長でご退職)…平成 21-22 年度放送専門部長(黒沢尻北)
・川村理恵子先生(黒沢尻工業でご退職)…平成 19 年度放送専門部事務局長(盛岡商業)，平成 13 年度 NHK 杯朗読部門優良賞ほか
・宮野哲美先生(盛岡北でご退職)…平成 6 年度全国高総文祭(愛媛)朗読部門奨励賞

③ 役員選出に関する細則別表 1 役員案作成に関する事項の改定(平成 23 年度第 3 回理事会で決定，平成 24 年度から実施)…副専門部長について，事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。

④ 県大会の審査基準の変更(平成 23 年度第 3 回理事会で決定，平成 24 年度から実施)…得点集計と順位について，審査員の最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(3)　決算報告

ア　一般会計

1　収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	前年度繰越	10,563	10,563	0	
B	登録料				
B-01	学校登録料	120,000	108,000	-12,000	NHK杯県大会参加校1校あたり6,000
B-02	個人登録料	80,000	72,500	-7,500	講習会参加生徒1人あたり500
登録料小計		200,000	180,500	-19,500	
C	参加料				
C-01	NHK杯県大会参加料	180,000	148,000	-32,000	1エントリーあたり1,000
C-02	新人大会参加料	150,000	140,000	-10,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計		330,000	288,000	-42,000	
D	補助金				
D-01	県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯･新人大会
D-02	セミナーサポート費	430,000	430,000	0	講習会
D-03	強化費	50,000	50,000	0	講習会
D-04	専門部補助	190,000	190,000	0	講習会･新人大会･NHK杯
D-05	研修費	50,000	50,000	0	講習会
補助金小計		800,000	800,000	0	
E	雑収入	437	7,096	6,659	利子･福岡県より支援金7,000
合計		1,341,000	1,286,159	-54,841	

2　支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	運営費				
A-01	分担金	10,000	10,000	0	東北高文連放送部会費
A-02	事務費	5,000	0	5,000	事務費･通信費･会議費
A-03	旅費	50,000	39,348		第3回理事会等
運営費小計		65,000	49,348	5,000	
B	事業費				
B-01	NHK杯県大会	250,000	216,375	33,625	事業予算･決算別途
B-02	新人大会	290,000	270,289	19,711	事業予算･決算別途
B-03	講習会	590,000	501,370	88,630	事業予算･決算別途
B-04	研修事業	100,000	98,490	1,510	全国研修会派遣補助等
事業費小計		1,230,000	1,086,524	143,476	
C	予備費	46,000	0	46,000	
総計		1,341,000	1,135,872	194,476	

3　残高

収入済額　-　支出済額　=　1,286,159　-1,135,872　=　150,287 (次年度繰越金)

監査の結果，適正と認めます。

平成24年2月21日　　監査　濱　谷　伸　広

監査　田　口　キ　ヨ

・登録料について，被災校の学校登録料免除(5校30,000円)，被災者の個人登録料免除(29名14,500円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は31,000円の減。

・福岡県高文連放送専門部からの支援金 7,000 円は雑収入とし，被災校の上位大会参加料の一部に充てた。

・収入決算額の前年度決算額との増減は 240,973 円の減，支出決算額の前年度決算額との増減は380,697円の減。

・繰越150,287円は，予算額の11.2%で，適正な規模に戻った。

イ　事業費会計①　NHK 杯県大会

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
1	参加料	180,000	148,000	-32,000	一般会計収C-01
2	県高総文祭部門費	60,000	60,000	0	一般会計収D-01
3	専門部補助	10,000	8,375	-1,625	一般会計収D-04
合計		250,000	216,375	-33,625	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費				
A-01	審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	50,000	42,180	7,820	楯(最優秀賞･優秀賞)
報償費小計		70,000	42,180	27,820	
B	旅費				
B-01	県大会関係	50,000	48,250	1,750	第1回理事会･設営等
B-02	上位大会関係	60,000	42,060	17,940	準々決勝非公開審査派遣
旅費小計		110,000	90,310	19,690	
C	需用費				
C-01	食糧費	50,000	47,940	2,060	審査員･係昼食
C-02	資料費	10,000	120	9,880	事務用品
需用費小計		60,000	48,060	11,940	
D	役務費	5,000	2,325	2,675	郵券･上位大会手続き･手数料
E	予備費	5,000	33,500	-28,500	上位大会被災校参加料
総計		250,000	216,375	104,245	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 216,375 -216,375 = 0

監査の結果, 適正と認めます。

平成23年9月8日　監査　濱　谷　伸　広

監査　田　口　キ　ヨ

・平成 23 年度第 2 回理事会で決算報告済み。
・参加料について，被災校の免除(5 校 25 エントリー25,000 円)をおこなった。参加料の前年度決算額との増減は 36,000 円の減。
・予備費から，被災校の東北高等学校アナウンス朗読コンテスト参加料(1 校 3 名 7,500 円)と NHK 全国高校放送コンテスト参加料(2 校 5 エントリー26,000 円)を支出した。
・支出決算額の前年度決算額との増減は 32,375 円の増。

ウ　事業費会計②　新人大会

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
1	参加料	150,000	140,000	-10,000	一般会計収C-02
2	県高総文祭部門費	20,000	20,000	0	一般会計収D-01
3	専門部補助	120,000	110,289	-9,711	一般会計収D-04
合計		290,000	270,289	-19,711	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費				
A-01	審査員謝金	90,000	80,000	10,000	20,000*4
A-02	表彰費	50,000	48,950	1,050	楯(最優秀賞･優秀賞)
報償費小計		140,000	128,950	11,050	
B	旅費				
B-01	県大会関係	50,000	44,460	5,540	第2回理事会･設営等
B-02	上位大会関係	30,000	15,115	14,885	東北理事会
旅費小計		80,000	59,575	20,425	
C	需用費				
C-01	食糧費	50,000	42,420	7,580	審査員･係昼食
C-02	資料費	10,000	2,969	7,031	事務用品
需用費小計		60,000	45,389	14,611	
D	役務費	5,000	1,375	3,625	郵券･上位大会手続き･手数料
E	予備費	5,000	35,000	-30,000	上位大会被災校参加料
総計		290,000	270,289	19,711	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 270,289 -270,289 = 0

監査の結果, 適正と認めます。

平成24年2月21日　監査　濱　谷　伸　広

監査　田　口　キ　ヨ

・平成 23 年度第 3 回理事会で決算報告済み。
・参加料について，被災校の免除(5 校 29 エントリー29,000 円)をおこなった。参加料収入の前年度決算額との増減は 15,000 円減。
・予備費から，被災校の東北高等学校放送コンテスト参加料(1 校 7 エントリー35,000 円)を支出した。
・支出決算額の前年度決算額との増減は 30,582 円の減。

エ　事業費会計③　講習会

1　収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
1	セミナーサポート費	430,000	430,000	0	一般会計収D-02
2	強化費	50,000	50,000	0	一般会計収D-03
3	専門部補助	60,000	21,370	-38,630	一般会計収D-04
4	研修費	50,000	0	-50,000	一般会計収D-05
合計		590,000	501,370	-88,630	

2　支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費	120,000	142,602	-22,602	講師謝礼@22,222/日(うち源泉徴収税額@2,222)
B	旅費				
B-01	講師旅費	260,000	241,120	18,880	高文連規定による定額
B-02	講師宿泊費	60,000	58,800	1,200	高文連規定による定額
旅費小計		320,000	299,920	20,080	
C	需用費				
C-01	資料作成費		0	0	
C-02	印刷代	100,000	0	100,000	
C-03	教材作成費		0	0	
C-04	講師昼食代	18,000	17,028	972	講師･役員
C-05	消耗品費		0	0	
需用費小計		118,000	17,028	100,972	
D	役務費				
D-01	郵便料金	1,000	0	1,000	
D-02	宅配料金		0	0	
D-03	運搬費		0	0	
D-04	振込手数料	1,000	0	1,000	
D-05	その他通信費		0	0	
役務費小計		2,000	0	2,000	
E	使用料･貸借料				
E-01	会場費	10,000	31,500	-21,500	9/18おでって
E-02	機器使用料	10,000	10,320	-320	9/18おでって
使用料･貸借料小計		20,000	41,820	-21,820	
F	予備費	10,000	0	10,000	
総計		590,000	501,370	88,630	

3　残高

収入済額　-　支出済額　=　501,370　-501,370　=　0

監査の結果，適正と認めます。

平成24年2月21日　監査　濱　谷　伸　広

監査　田　口　キ　ヨ

・平成 23 年度第 3 回理事会で決算報告済み。
・事業ごとの支出額は次のとおり。

アナウンス朗読講習会(7/16)	5,040 円
放送講習会(9/18)	306,540 円
メディアコミュニケーションセミナー(10/12)	104,226 円
番組講習会(11/26)	27,432 円
アナウンス朗読講習会(12/24)	58,132 円
合計	501,370 円

協議 2　平成 24 年度役員　(改選期，理事校 29 校)

専門部長	岩手県立盛岡北高等学校長	佐野武徳	事務局校
副専門部長	岩手県立盛岡第四高等学校長	須貝竹志	次期事務局校
専門部代表理事	岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ	事務局長
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	舟山美知・熱海千乃・川又謙也・中井絵美・佐藤昇広	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広	平成 44～45 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	谷藤さなえ	平成 44～45 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭	平成 32～33 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	平成 34～35 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	斎藤信太郎	平成 34～35 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	水車明子	監事・次期事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	細川明典	平成 36～37 年度事務局校
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	佐々木裕子	平成 38～39 年度事務局校
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	岡垣百合奈	平成 38～39 年度事務局校
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校定時制	小林由美子	
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校定時制	齊藤美保	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	平成 40～41 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	太田原章克	平成 40～41 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	鈴木則子	平成 42～43 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	高橋昭宏	平成 42～43 年度事務局校
専門部理事	盛岡市立高等学校	菊池博之	監事・平成 46～47 年度事務局校
専門部理事	盛岡市立高等学校	佐藤桂子	平成 46～47 年度事務局校
専門部理事	岩手高等学校	松田満	盛岡支部理事・平成28～29年度事務局校
専門部理事	岩手高等学校	岡本久雄	平成 28～29 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂	平成 30～31 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	菅原浩	平成 30～31 年度事務局校
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	髙橋愛	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	曽我範晃	北上支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	舘昌章	
専門部理事	専修大学北上高等学校	昆洋子	
専門部理事	専修大学北上高等学校	野村学	
専門部理事	岩手県立前沢高等学校	小野寺幸利	
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	武藤秀郷	奥州支部理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	千葉英美	
専門部理事	岩手県立千厩高等学校	久慈千鶴子	一関支部理事
専門部理事	岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉	気仙支部理事
専門部理事	岩手県立釜石高等学校	髙橋篤志	釜石支部理事
専門部理事	岩手県立釜石高等学校	岩鼻清一	
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	高橋啓	
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	吉田哲郎	
専門部理事	岩手県立山田高等学校	岡田伸一郎	
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	山崎治子	宮古支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	小笠原潤	
専門部理事	岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉	
		NHK 杯運営委員・全国高文連放送部会理事・東北アナ朗事務局・東北大会事務局	
専門部理事	岩手県立宮古水産高等学校	大石敦子	
専門部理事	岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬	久慈支部理事
専門部理事	岩手県立沼宮内高等学校	菊池久恵	
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	松尾美幸	二戸支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	馬淵祥介	

協議 3　平成 24 年度事業計画ならびに予算

(1)　事業計画

・規約第 5 条により，大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の 4 つで構成します。

・9 月までの主催事業の要項は，今回の理事会で協議します(NHK 杯県大会は協議 4，放送講習会は協議 5)。10 月以降のものは第 2 回理事会で協議します。

・昨年度までの要項等は，放送専門部のウエブサイトでご覧ください。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	25	水	理事総会･第1回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
6	4 5	月 火	**第35回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第59回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会**	県民会館	**放送専門部･NHK**
7	2 3	月 火	**第12回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト**	細野地区活性化センター	**東北高文連 主管事業**
7	中旬		**アナウンス朗読講習会**	NHK盛岡放送局	**放送専門部**
7	23 26	月 木	**第59回NHK杯全国高校放送コンテスト**	NHKホール他（東京）	全放連･NHK
7	26	木	**Nコン番組制作セミナー**	(東京)	全放連･NHK
8	10	金	全国高文連放送専門部都道府県代表者会議	富山国際会議場	全国高文連
8	11 12	土 日	**第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会)放送部門**	富山国際会議場･富山市民プラザ	全国高文連
9	中旬		第2回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
9	16	日	**放送講習会**	県民会館	**放送専門部**
9	16	日	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	県民会館	**東北高文連 主管事業**
10	5	金	**第35回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式**	大船渡市民文化会館	県高文連 (気仙支部主管)
10	10	水	**メディアコミュニケーションセミナー**	県民会館他	**放送専門部**
11	7	水	**第35回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第30回岩手県高等学校放送新人大会**	県民会館	**放送専門部**
11	24	土	**番組講習会**	(盛岡)	**放送専門部**
12	23	日	**アナウンス朗読講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連･NHK
2	2 3	土 日	**第16回東北高等学校放送コンテスト**	県民会館	**東北高文連 主管事業**
2	中旬		第3回理事会･会計監査	盛岡北高	**放送専門部**
3	下旬		第60回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連･NHK

ア　大会事業

①　**主催大会**…いずれも第 35 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会，ならびに上位大会の県予選として開催します。上位大会出場を前提としてエントリーするようお願いします。参加申込み締切は，大会 3 週間前を原則とします。次の日程原則により，上表のとおり会場を確保しています。

・**NHK 杯県大会**(県民会館)　6 月第 2 週の月曜・火曜(6/4-5)→協議 4

・**新人大会**(県民会館)　11 月第 2 週の水曜(11/7)

キャンペーン部門のキーワードは「ところが,」

② **上位大会**…要項等は放送専門部のウエブサイトでご覧ください。

・**第 12 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト**(安比)　7/2-3　担当: 宮古工業・菊地
http://www2.iwate-ed.jp/housou/anarou/ 岩手県高文連放送専門部の主管で実施。夏の全国大会アナ朗代表対象。

・**第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト**(東京)　7/25-28　担当: 宮古工業・菊地
http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/ NHK 杯県大会の上位大会。全国大会についての詳細は 6/5 の代表校打合せにて説明します。

・**第 36 回全国高等学校総合文化祭放送部門**(富山)　8/11-12　担当: 宮古工業・菊地
http://www.soubun2012.tym.ed.jp/ 平成 23 年度新人大会の上位大会。代表は次のとおり。

・アナウンス部門…盛岡白百合・小池悠菜・西郷華菜，花巻北・照井芙美香
・朗読部門…盛岡北・角掛綾香，黒沢尻北・高橋健人，盛岡第一・佐々木真悠子
・ビデオメッセージ部門…黒沢尻北，花巻北
・オーディオピクチャー部門…盛岡第三
・CM(富山大会独自)…盛岡第一

準備日程

・5/2(水)正午　部門別参加票・作品・書類等一式集約(郵送等) → 宮古工業・菊地

表彰

・富山大会から，文部科学大臣賞・文化庁長官賞を，都道府県単位で出す。成績集計方法は，各グループ(AP 部門は 2 グループごと)内の部門ごとの順位をポイント化し，最も高い合計点の発表・作品に優秀賞を授与。このポイントを(CM 部門を除く)全部門で合計し，合計点が 1 位の都道府県に対して文部科学大臣賞，2 位の都道府県に対して文化庁長官賞を授与する方式。
・富山大会のグループ(ブロック)
アナウンス部門:ブロック C(福島・三重・岩手・鹿児島・宮城・石川)
朗読部門:ブロック F(福島・岐阜・静岡・広島・岩手・福岡)
AP 部門・VM 部門:ブロック G(広島・岩手・青森・秋田・宮城・開催県)
・各部門における都道府県単位の発表(岩手案)については，継続審議となった。

・**第 16 回東北高等学校放送コンテスト**(盛岡)　2/2-3　主管: 岩手県，事務局: 菊地
新人大会の上位大会。キャンペーン部門のキーワードは「ところが,」。詳細は協議 6。

・**第 37 回全国高等学校総合文化祭放送部門**(長崎県諫早市)　平成 25 年 8/3-4
新人大会の上位大会。http://www.nagasaki-shiokaze.jp/

イ　講習会事業

① **主催講習会**…いずれの講習会も，セミナーサポート事業として開催します。参加申込み締切は，開催 2 週間前を原則とします。次の日程原則により，前ページのとおり会場を確保しています。

・**アナウンス朗読講習会(1)**(NHK 盛岡局?)　7 月中旬
NHK 杯全国大会・全国総文祭のアナウンス部門・朗読部門代表対象

・**放送講習会**(県民会館)　敬老の日の前日(9/16) →協議 5

・**メディアコミュニケーションセミナー**(県民会館)　体育の日の翌々日(10/10)
　TVI・IBC の専門家による部門別(アナウンス・朗読・テレビ・ラジオ)講習
・**番組講習会(1)**(テレビ岩手?)　11/24　東北大会代表対象
・**アナウンス朗読講習会(2)**(県民会館)　12 月下旬(12/23)
　東北大会アナウンス部門・朗読部門代表対象
・**番組講習会(2)**(アイーナ?)　3 月下旬　盛岡支部主催

② **上位大会関連・協力事業関連**…放送専門部のウエブサイト，メーリングリスト等で随時お知らせします。
・**N コン番組制作セミナー，短歌甲子園司会講習会，他**

ウ　顧問研修事業

校内放送指導者講座(12 月下旬，東京)への派遣と参加補助をおこないます。また，他県の研修会・講習会等の行事について，メーリングリストでご案内します。

エ　その他の事業

① **部員数調査**…5 月に実施し，メーリングリストと第 2 回理事会で報告します。→連絡 3(2)

② **県内諸団体からの後援・協力依頼によるもの**…県高総文祭総合開会式，高総体開会式，いわて教育の日記念行事，県内マスコミからの協力依頼(IAT 純情応援歌，IAT シリーズ卒業等)等について協力します。

県高総文祭総合開会式の担当は次のとおりです。
・平成 24 年(第 35 回)…気仙支部，大船渡東高等学校主管
・平成 25 年(第 36 回)…奥州支部
・平成 26 年(第 37 回)…盛岡支部

高総体開会式司会については，高体連からの推薦依頼により，盛岡第一・盛岡第二の各 2 名を推薦しました。

③ **高文連表彰**…県高文連表彰規定により，次に該当するものを推薦します。第 2 回理事会で報告します。
・**連盟賞(生徒表彰)**…平成 23 年 9 月 1 日(昨年度の全国高総文祭を除く)～平成 24 年 8 月 31 日に全国大会(総文祭・NHK 杯など)で優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
・**功労賞(教職員表彰)**…平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日に退職した教職員で，専門部長経験者，指導者として全国大会優良賞(3 位)以内に入賞させた方，指導者として全国大会に 10 回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方を専門部として推薦します。該当の方をお知らせください。

(2)　予算

ア　一般会計

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A	前年度繰越	150,287	10,563	10,563	139,724	
B	登録料					
B-01	学校登録料	100,000	120,000	108,000	-20,000	NHK杯県大会参加校1校あたり6,000
B-02	個人登録料	70,000	80,000	72,500	-10,000	講習会参加生徒1人あたり500
	登録料小計	170,000	200,000	180,500	-30,000	
C	参加料					
C-01	NHK杯県大会参加料	160,000	180,000	148,000	-20,000	1エントリーあたり1,000
C-02	新人大会参加料	150,000	150,000	140,000	0	1エントリーあたり1,000
	参加料小計	310,000	330,000	288,000	-20,000	
D	補助金					
D-01	県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	
D-02	セミナーサポート費	430,000	430,000	430,000	0	講習会
D-03	強化費	50,000	50,000	50,000	0	
D-04	専門部補助	170,000	190,000	190,000	-20,000	
D-05	研修費	50,000	50,000	50,000	0	
	補助金小計	780,000	800,000	800,000	-20,000	
E	雑収入	713	437	7,096	276	利子
	合計	1,411,000	1,341,000	1,286,159	70,000	

2 支出の部

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A	運営費					
A-01	分担金	10,000	10,000	10,000	0	東北高文連放送部会費
A-02	事務費	5,000	5,000	0	0	事務費･通信費･会議費
A-03	旅費	50,000	50,000	39,348		第3回理事会等
	運営費小計	65,000	65,000	49,348	0	
B	事業費					
B-01	NHK杯県大会	320,000	250,000	216,375	70,000	事業予算･決算別途
B-02	新人大会	370,000	290,000	270,289	80,000	事業予算･決算別途
B-03	講習会	430,000	590,000	501,370	-160,000	事業予算･決算別途
B-04	研修事業	75,000	100,000	98,490	-25,000	全国研修会派遣補助等
	事業費小計	1,195,000	1,230,000	1,086,524	-35,000	
C	予備費	151,000	46,000	0	105,000	
	総計	1,411,000	1,341,000	1,135,872	70,000	

・県高文連からの補助金は，上記のほかに，東北大会のための補助が 100,000 円支給されています。東北大会の予算については，第 2 回理事会で協議します。

イ　事業費会計①　NHK 杯県大会

1 収入の部　(単位: 円)

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1	参加料	160,000	180,000	148,000	-20,000	一般会計収C-01
2	県高総文祭部門費	40,000	60,000	60,000	-20,000	一般会計収D-01
3	専門部補助	100,000	10,000	8,375	90,000	一般会計収D-04
4	強化費	10,000			10,000	一般会計収D-03
5	一般会計より	10,000			10,000	一般会計収B
合計		320,000	250,000	216,375	70,000	

2 支出の部

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A	報償費					
A-01	審査員謝金	20,000	20,000	0	0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	45,000	50,000	42,180	-5,000	楯(最優秀賞･優秀賞)
報償費小計		65,000	70,000	42,180	-5,000	
B	旅費					
B-01	県大会関係	50,000	50,000	48,250	0	第1回理事会･設営等
B-02	上位大会関係	105,000	60,000	42,060	45,000	担当者会議･全国大会運営委員
旅費小計		155,000	110,000	90,310	45,000	
C	需用費					
C-01	食糧費	50,000	50,000	47,940	0	審査員･係昼食
C-02	資料費	10,000	10,000	120	0	事務用品
需用費小計		60,000	60,000	48,060	0	
D	役務費	5,000	5,000	2,325	0	郵券･上位大会手続き･手数料
E	予備費	35,000	5,000	33,500	30,000	上位大会被災校参加料
総計		320,000	250,000	216,375	70,000	

ウ　事業費会計②　新人大会

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1	参加料	150,000	150,000	140,000	0	一般会計収C-02
2	県高総文祭部門費	40,000	20,000	20,000	20,000	一般会計収D-01
3	専門部補助	70,000	120,000	110,289	-50,000	一般会計収D-04
4	強化費	40,000			40,000	一般会計収D-03
5	一般会計より	70,000			70,000	一般会計収B
合計		370,000	290,000	270,289	-30,000	

2 支出の部

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A	報償費					
A-01	審査員謝金	80,000	90,000	80,000	-10,000	20,000*4
A-02	表彰費	50,000	50,000	48,950	0	楯(最優秀賞･優秀賞)
報償費小計		130,000	140,000	128,950	-10,000	
B	旅費					
B-01	県大会関係	50,000	50,000	44,460	0	第2回理事会･設営等
B-02	上位大会関係	90,000	30,000	15,115	60,000	全国高文連放送専門部･東北理事会
旅費小計		140,000	80,000	59,575	60,000	
C	需用費					
C-01	食糧費	50,000	50,000	42,420	0	審査員･係昼食
C-02	資料費	10,000	10,000	2,969	0	事務用品
需用費小計		60,000	60,000	45,389	0	
D	役務費	5,000	5,000	1,375	0	郵券･上位大会手続き･手数料
E	予備費	35,000	5,000	35,000	30,000	上位大会被災校参加料
総計		370,000	290,000	270,289	80,000	

エ　事業費会計③　講習会

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1	セミナーサポート費	430,000	430,000	430,000	0	一般会計収D-02
2	強化費		50,000	50,000	-50,000	一般会計収D-03
3	専門部補助		60,000	21,370	-60,000	一般会計収D-04
4	研修費		50,000	0	-50,000	一般会計収D-05
5	一般会計より				0	一般会計収B
合計		430,000	590,000	501,370	-160,000	

2 支出の部

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A	報償費	150,000	120,000	142,602		講師謝礼@20,000/日
B	旅費					
B-01	講師旅費	120,000	260,000	241,120	-140,000	高文連規定による定額
B-02	講師宿泊費	60,000	60,000	58,800	0	高文連規定による定額
旅費小計		180,000	320,000	299,920	-140,000	
C	需用費					
C-01	資料作成費			0	0	
C-02	印刷代	50,000	100,000	0	-50,000	
C-03	教材作成費			0	0	
C-04	講師昼食代	20,000	18,000	17,028	2,000	講師･役員
C-05	消耗品費			0	0	
需用費小計		70,000	118,000	17,028	-48,000	
D	役務費					
D-01	郵便料金		1,000	0	-1,000	
D-02	宅配料金			0	0	
D-03	運搬費			0	0	
D-04	振込手数料		1,000	0	-1,000	
D-05	その他通信費			0	0	
役務費小計		0	2,000	0	-2,000	
E	使用料･貸借料					
E-01	会場費	10,000	10,000	31,500	0	
E-02	機器使用料	10,000	10,000	10,320	0	
使用料･貸借料小計		20,000	20,000	41,820	-2,000	
F	予備費	10,000	10,000	0	0	
総計		430,000	590,000	501,370	-190,000	

協議 4　NHK 杯県大会要項

(省略 放送専門部のサイトを参照ください http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/nken2012.pdf)

協議 5　放送講習会要項

(省略 放送専門部のサイトを参照ください http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/semi2012-2.pdf)

協議 6　第 16 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会について

(1)　大会概要

・平成 25 年 2 月 1 日(金)全日準備日，2 日(土)・3 日(日)が大会，会場は県民会館。
・大会事務局：宮古工業・菊地達哉，運営委員会は岩手県高文連放送専門部の役員全員で組織し，大会を運営します。
・開催県の東北大会エントリー枠は，アナ朗が 14 名ずつ，番組が 8 本ずつで，合計 8 エントリー分増枠となります。
・実施要項，予算，準備日程など運営の詳細については，9 月の第 2 回理事会で協議します。

(2)　大会開催要項，制作・審査規程

・平成 23 年 2 月 11 日の東北地区高文連放送部会総会での保留事項(制作・審査規程のうち予選の審査会についての文言)について次のとおりとし，9 月 16 日の東北理事会で提案，決定します。(放送専門部のサイトを参照ください http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/tohoku2012.pdf)

協議 7　その他

連絡 1　平成 25 年度以降の予定

(1)　確定している日程

月	日	曜	事業名 (**太字**は生徒参加の事業)	会場	主催者 (**太字**は主催)
4	中旬		理事総会･第1回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
6	4	火	**第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会**	県民会館	**放送専門部･NHK**
7	1 2	月 火	**第13回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト**	細野地区活性化センター	**東北高文連 主管事業**
7	中旬		**アナウンス朗読講習会**	NHK盛岡放送局	**放送専門部**
7	22 25	月 木	**第60回NHK杯全国高校放送コンテスト**	NHKホール他 (東京)	全放連･NHK
7	25	木	**Nコン番組制作セミナー**	(東京)	全放連･NHK
8	2	金	全国高文連放送専門部都道府県代表者会議	(長崎県諫早市)	全国高文連
8	3 4	土 日	**第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会)放送部門**	諫早文化会館	全国高文連
9	中旬		第2回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
9	15	日	**放送講習会**	県民会館	**放送専門部**
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(宮城県)	東北高文連
10	4	金	**第36回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式**	奥州市文化会館	県高文連 (気仙支部主管)
10	9	水	**メディアコミュニケーションセミナー**	県民会館他	**放送専門部**
11	6	水	**第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第31回岩手県高等学校放送新人大会**	県民会館	**放送専門部**
11	23	土	**番組講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	23	月	**アナウンス朗読講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連･NHK
2	8 9	土 日	**第17回東北高等学校放送コンテスト**	仙台市青年文化センター	東北高文連
2	中旬		第3回理事会･会計監査･盛岡第四高へ引継ぎ	盛岡北高	**放送専門部**
3	下旬		第61回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連･NHK

次の日程原則により会場を確保しています。

- **NHK 杯県大会(県民会館)**…原則: 6 月第 2 週の月曜(準備)・火曜(大会)　高総体後・考査前
- **放送講習会(県民会館)**…原則: 9 月第 3 日曜(行事)(敬老の日の前日)
- **メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)**…原則: 10 月第 2 火曜(準備)・水曜(行事)(体育の日の翌日・翌々日)　高総文祭開会式後　ただし，平成 25 年度は 10/9(水)
- **新人大会(県民会館)**…原則: 11 月第 2 週の火曜(準備)・水曜(大会)　運動部の新人大会後・考査前

(2)　平成 25 年度以降の上位大会

ア　NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

平成 25 年 7 月 25 日(木)　　平成 26 年度以降未定

イ　全国高等学校総合文化祭開催県

平成 25 年長崎県→平成 26 年茨城県→平成 27 年度滋賀県?

ウ　東北高等学校放送コンテスト開催県

平成 25 年度宮城県→平成 26 年度山形県→平成 27 年度秋田県。秋田から時計回りを原則とする。21 年度からのローテーションでは，23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ，他をずらしています。

連絡 2　放送専門部の連絡方法

(1)　放送専門部ウエブサイトについて

・放送専門部のウエブサイトをご利用ください。　http://www2.iwate-ed.jp/housou/

(2)　放送専門部顧問メーリングリストについて

・放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また，連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので，一日一度はメールの確認をお願いします。なお，上位大会の手続きは，原則としてすべてメールやウエブです。

(3)　事務局からの文書発送について

・事務局からの文書は，公立高校へは GWW で，私立高校へはメール添付で送付します。同時に，放送専門部のウエブサイトにもデータを掲載しダウンロードできるようにします。また，その都度，メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

連絡 3　その他

(1)　理事会の旅費の計算について

・理事会の旅費は，県高文連旅費規程により，専門部が負担します。

・旅費の算出は，各自(各校)でおこなってください。各校の事務室で出張の実態(発着地，通勤経路との関係，私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい，理事会出席の報告時に，交通費(運賃・車賃)・現地経費をあわせてお知らせください。

・近隣の学校での乗りあわせなど，経費節減へのご協力もよろしくお願いいたします。

(2)　部員数調査について

・事業計画(行事への参加数，東北大会の補助員依頼等)の基礎資料として，部員数等の調査をおこないます。5 月 15 日(火)までに回答をお願いします。集約はメーリングリストと第 2 回理事会で報告します。

(3)　盛岡支部から

・Kotose 音読教室について，TVI 廣嶼プロデューサーから番組の案内

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

第1章　総則

第1条(名称)

本専門部は，岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し，岩手県高等学校文化連盟に所属する。

第2条(事務局)

本専門部は，事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

第3条(構成)

本専門部は，岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

2　本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める 10 支部(盛岡，花巻，北上，奥州，一関，気仙，釜石，宮古，久慈，二戸)を置く。

第2章　目的及び事業

第4条(目的)

本専門部は，岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して，放送部等の相互理解と，校内放送活動の育成，振興，ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

第5条(事業)

本専門部は，前条の目的達成のために，次の事業を行う。

(1)　大会，講習会，研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会，岩手県高等学校放送新人大会等)

(2)　放送部等の情報交換および連絡に関すること。

(3)　校内放送活動の研究に関すること。

(4)　関係機関との情報交換および交流に関すること。

(5)　その他目的達成に必要な事業

第3章　役員

第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

(1)　専門部長　　1名

(2)　副専門部長　若干名

(3)　専門部代表理事(事務局長)　1名

(4)　専門部理事　若干名

(5)　支部理事　　各支部1名(10名)

(6)　監事　　2名

第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

(1)　事務局長(専門部代表理事)　1名

(2)　庶務担当　若干名

(3)　会計担当　若干名

第8条(職務)

役員の職務は次のとおりとする。

(1)　専門部長は，本専門部を代表し，会務を統轄する。

(2)　副専門部長は，専門部長を補佐し，専門部長に事故あるときは，その職務を代行する。

(3)　専門部代表理事は，理事会を統括し，事務局長として会務を処理する。

(4)　専門部理事は，理事会を組織し，会務を処理する。

(5)　監事は，業務の監督及び会計の監査を行う。

(6)　事務局員は，本専門部の事務を処理する。

第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

(1)　専門部長は，岩手県高等学校長協会の推薦により，理事総会で承認する。

(2)　副専門部長は，理事総会の推薦により，専門部長が委嘱する。

(3)　専門部代表理事(事務局長)，専門部理事，監事は，理事総会の推薦により，専門部長が委嘱する。

(4)　支部理事は，専門部理事より各支部で選出し，理事総会で承認する。

(5)　事務局員は，専門部長が委嘱する。

2　役員の重任は妨げない。

第 10 条(任期)

役員の任期は 2 年とする。ただし,再任を妨げない。

2　役員に欠員が生じたときは補充することができる。

第 4 章　会議

第 11 条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

(1)　理事総会　本専門部役員全員で構成する。理事総会は本専門部の最高決議機関であり,毎年 1 回専門部長が招集する。

(2)　理事会　専門部長,副専門部長,専門部代表理事(事務局長),専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。

(3)　事業実行委員会　主催事業毎,ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

第 12 条(会議に付議すべき事項)

(1)　理事総会

①　事業報告および決算

②　事業計画および予算

③　役員の選出

④　規約の改定

⑤　その他特に必要な事項

(2)　理事会

①　理事総会から委嘱された事項

②　細則の改定

③　加盟団体から提案された事項

④　その他必要な事項

第 13 条(議決)

会議は構成校の 3 分の 2 以上の出席で成立するものとし,委任状はこれを認める。

2　議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし 1 校 1 票とする。

第 5 章　会計

第 14 条(会計)

本連盟の経費は,登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって,これにあてる。

第 15 条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとする。

第 16 条(会計経理)

本専門部の会計は,別に定める会計事務に関する細則による。

附則

1　この規約は,理事総会の議決によらなければ変更することができない。

2　この規約の実行に必要な細則は,理事会の議決をへて別に定める。

3　この規約は,平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

4　この規約は,平成 15 年 4 月から施行する。

5　この規約は,平成 18 年 4 月から施行する。

6　この規約は,平成 20 年 4 月から施行する。

7　この規約は,平成 21 年 4 月から施行する。

役員選出に関する細則

第 1 条(趣旨)

この細則は，岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき，同規約第 6 条および第 9 条による役員選出について定めるものである。

第 2 条(役員選出の原案)

役員の選出については，別表 1 により原案を作成する。事務局については第 3 条で定める。

第 3 条(事務局の輪番)

事務局は，2 年交代の輪番制とする。

2　輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。

3　輪番制の詳細については，別表 2 による。

附則

1　この細則は理事会の議により改定することができる。

2　別表 1 および別表 2 は，事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。

3　この細則は，平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

4　この細則は，平成 16 年 4 月から施行する。

5　この細則は，平成 17 年 4 月から施行する。

6　この細則は，平成 20 年 4 月から施行する。

7　この細則は，平成 21 年 4 月から施行する。

8　この細則は，平成 24 年 4 月から施行する。

別表 1　役員案作成に関する事項

専門部長　岩手県高等学校長協会の推薦による。

副専門部長　事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。

専門部代表理事(事務局長)　事務局校の専門部理事とする。

専門部理事　大会(NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会，岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。

監事　前事務局校と次期事務局校とする。

備考　専門部長について 2012(平成 24)年 4 月の岩手県高等学校長協会の推薦は，岩手県立盛岡北高等学校長。

別表 2 事務局の輪番に関する事項

1　盛岡白百合学園　1996～1997 年度

2　盛岡第二　　(インターハイ式典)

3　盛岡第三　　1998～1999 年度

4　盛岡南　　2000～2001 年度

5　不来方　　2002～2003 年度

6　盛岡工業　　2004～2005 年度

7　盛岡商業　　2006～2007 年度

8　盛岡第一　　2008～2009 年度

9　盛岡市立　　2010～2011 年度

10　盛岡北　　2012～2013 年度

11　盛岡第四　　2014～2015 年度

12　岩手　　2016～2017 年度

(12 番の次は 1 番に戻る)

備考①輪番制は 1996(平成 8)年度から実施している。

②輪番については，記載順を原則とする。

会計事務に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は，岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき，同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

第2条(会計事務)

会計事務は，専門部長の指導のもと，事務局長が担当する。

2　予算書は，事務局長が作成し，理事総会の議を経なければならない。

3　収納した現金は，確実な金融機関に預金し，事務局長が保管する。

4　事務局長は，予算書および関係書類を照合し，その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し，速やかに記帳処理を行う。

5　決算書は，会計年度終了後速やかに作成し，監査後，理事総会の承認を得なければならない。

第3条(登録料)

登録料は，次のとおりとする。納期は理事会で定める。

(1)　学校登録料　NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会に参加する加盟校1校あたり，年額6,000円。

(2)　個人登録料　講習会に参加する1・2年の生徒1人あたり，年額500円。

第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料，ならびに納期は，理事会で定める。

第5条(旅費)

旅費は，岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については，放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し，その都度予算書を作成し，理事会の議を経て執行する。予算書は，事務局長が作成する。

2　事業終了後は，速やかに決算書を作成し，監査後，理事会の承認を得なければならない。

附則

1　この細則は理事会の議により改定することができる。

2　この細則は，平成13年4月1日から施行する。

3　この細則は，平成20年4月から施行する。

4　この細則は，平成21年4月から施行する。

岩手県高等学校文化連盟旅費規程　(参考資料)

第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により，旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下,「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下,「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には，当該加盟校職員に対し，旅費を支給する。

2　前項の規定に関わらず，加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下,「主催大会」という。)等に，参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には，旅費を支給しない。

3　加盟校職員以外の者が，県高文連の依頼に応じ，県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には，その者に対し旅費を支給する。

第3条(旅費の種類)

旅費の種類は，交通費，現地経費，宿泊料とする。

第4条(交通費)

交通費は，鉄道賃，船賃，航空賃，車賃とし，旅行の経路に応じて，次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

(1)　鉄道賃は，加盟校職員が所属する学校(以下,「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。

(2)　船賃は，水路旅行について，路程に応じ船賃実費を支給する。

(3)　航空賃は，航空旅行について，路程に応じ支給するものとし，その額は現に支払った額とする。

(4)　加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り，陸路旅行について，路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

(5)　前各号の規定に関わらず，全路程の鉄道賃金等が500円に満たない場合には500円を支給する。(※1)

第5条(現地経費)

現地経費は，旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし，その額は次のとおりとする。

(1)　旅行の用務地が県内である場合には1,500円を支給する。

(2)　旅行の用務地が県外である場合には2,200円を支給する。**(甲地方のみ2,900円)**

2　前項の規定に関わらず，次の各号の一に該当する場合においては，当該各号に規定する額に調整する。

(1)　行程40キロメートル未満の旅行(※2)であって，用務地が県内のものについては，支給しない。

(2)　用務が主催大会であって，昼食が支給される場合は，前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。

(3)　公用車等(※3)のみを利用して旅行する場合は，前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

第6条(宿泊料)

宿泊料は，旅行中の夜数に応じ1夜当りの定額により支給するものとし，その額は9,800円とする。**(甲地方のみ10,900円)**

2　前項の規定に関わらず，次の各号の一に該当する場合においては，当該各号に規定する宿泊料を支給する。

(1)　旅行者が自己所有の空き家，配偶者宅等に宿泊する場合には，宿泊料は支給しない。

(2)　主催大会に関する業務に従事する場合等で，大会主催者等により宿泊料が定められている場合には，当該実費額を支給する。

3　主催大会等に関する業務に従事する場合で，県高文連会長が必要と認めた者に対しては，宿泊料を支給することができる。

第7条(準用)

この規定に定める事項以外については，岩手県職員の例による。

附則

1　この規定は，平成17年4月1日から施行する。

2　この規定は，平成18年4月21日から施行する。

(補足)

※1　市内バス運賃往復は，500円が妥当

※2　1日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数

※3　「公用車等」は，私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

資料　平成 23 年度大会結果

（省略　放送専門部のサイトを参照ください　http://www2.iwate-ed.jp/housou/2011/）

資料　平成 23 年度高文連紀要

（省略　各校配布済み）